

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972500825
法人名	有限会社 グループホームあゆ
事業所名	グループホームあゆ
訪問調査日	平成 19年 10月 17日
評価確定日	平成 20年 2月 4日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年11月1日

【評価実施概要】

事業所番号	3972500825		
法人名	有限会社 グループホームあゆ		
事業所名	グループホームあゆ		
所在地 (電話番号)	高知県高岡郡四万十町大正258番地2 (電話) 0880-27-0411		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年10月17日	評価確定日	平成20年2月4日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.2人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独 ■	■新築/改築
建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	2万~2.5万 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷 金	有(円)	無 ■	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1月当たり 30,000 円		

(4) 利用者の概要(平成19年10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1		要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	名
要介護5	2 名	要支援2	名
年齢	平均 82.3 歳	最低 59 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	四万十国保大正診療所、いわさき歯科
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者、計画作成者は、地域の診療所の看護師として働いていた。地域医療の立場から、また訪問看護師として家庭を訪問する中で、認知症の方を抱えた家族の悩み、家の中で耐えている認知症の方の姿を目のあたりにし、この方達が「住み慣れた土地で安心して暮らせるように」との思いで、平成16年5月1日に開所した。医療に関しては、地域にある診療所の医師の全面的な協力が得られており、開所後、往診はもとより家族からの色々な要望に応えるなど信頼は極めて厚い。病状によるが、事業所を家庭として医師、職員、家族の協力で、現在まで数名の方が事業所で終末を迎えている。利用者が和気あいあいと楽しく日々を過ごしていることが、職員、利用者の表情からも窺われた。今後も「ゆっくり・ゆったり」の流れの中でくつろぎ安心して、その人らしい暮らしが継続し、また地域に密着したグループホームとして発展することを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で改善課題として指摘された項目については、改善の優先順位を立て対応している。管理者を中心に、全職員で課題内容をチェックしたうえで、改善シートを作成している。町内会への入会、居室の環境などについてはまだ解決していない項目もあるが、地域との交流については、広報の回覧、リサイクル作業に参加するなど、地域の中の事業所として地域と繋がり、地域への拡がりに目ざましいものがある。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、評価の意義を十分理解しており、前回の改善課題も考慮に入れながら、新たな気づき、見出したこと等を意見として提言するなど全員で前向きに取り組んでいる。今回は、職員に対しアンケート用紙を配布して、改善点を明確にするなどの努力が窺われた。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の参加メンバーは利用者家族代表、地区長、行政担当者、管理者、計画作成者、事務長で構成されている。特に目立った意見はないが、ホーム側から防災のこと、事故のこと等について理解と協力を求めた。今後はおおむね2か月に1回開催するとともに、外部参加者からの活発な意見をひき出すなど、双方向的な会議に進展することを期待する。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見や苦情は現在まではない。家族に2か月から3か月に1回「便り」を出していたが、家族の要望で、現在は1か月に1回、「便り」に近況報告、写真などをつけ送付している。苦情にまで至らない意見・相談などはサービスの質の確保・向上のための大切な宝と捉え、些細な意見なども記録に残し、職員間で共有しサービスに反映させることを期待する。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>閑静な場所であるが、周辺には民家が多い。日常的な散歩、外出でも住民からの声かけが多く、地域住民の理解は得られている。地域での催しやリサイクル作業に利用者と一緒に参加している。現段階では、町内会へ加入はしていないが、敷地内の運営者宅を通じて町内の情報は得ている。今後は、さらに地域の理解と信頼を深める意味からも、町内会への加入を期待したい。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔開所時に職員が十分話し合い、その上で決めた事業所独自の理念がある。「住みなれた地域で安心して暮らせる家」という内容である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である 〔理念は、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けるという、地域密着型サービスの役割を理解したものである。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔理念は、ホーム内の目に触れやすい場所に掲示し、月1回の全体会では、理念についての理解を深め実践と共有に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉掛け、態度、記録等）において理念が反映されている。 〔職員は、日々理念とのずれがないか、具体的なケアについて話し合っている。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地区の運動会に参加したり、夏、秋の神祭に参加をしている。事業所主催の運動会には、行政担当者の声かけの協力も得ながら多数の参加により行われている。リサイクルの仕分けには、利用者同伴で出席している。〕	<input type="checkbox"/>	事業所に隣接した場所に運営者の自宅があり、町内会での情報は得られているとのことであるが、運営者からの情報のみならず、事業所として、利用者一人ひとりが地域とつながりながら暮らし続ける意味でも、また事業所がその基盤を築いていくことの大切さを考慮して、町内会への加入を検討されたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔評価内容について全員で話し合い、改善計画シートを作成している。優先順位をつけ、課題の内容を検討し取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔運営推進会議の参加メンバーは、利用者家族代表、地区区長、行政担当者、管理者、計画作成者、事務長である。防災訓練のこと、事故の事などホーム側から報告するとともに、参加者から意見等を受け取り組みに反映している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔会議では、評価の課題、改善の取り組み、進展などを報告し意見をもらっている。〕	○	事業所と地域の交流の促進のためにも、おおむね2か月に1回開催されることを求める。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔包括支援センターの職員との交流はできている。町内で、本年度よりGH連絡協議会が開催されるようになった。会には、町の担当者も参加している。このような機会をとおして、行政との連携を深め、サービスの質の向上に繋げている。〕		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔2～3か月に1回、暮らしぶりなどを「便り」で伝えていたが、家族からの要望もあり、現在は1か月に1回近況報告や写真などを同封し連絡している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔家族に対しては、その都度来訪してもらったり、遠方の方、緊急時は電話連絡をしている。心身の状況、変化については特に留意し、家族との連絡は密にとっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔来訪する家族には、領収証を渡し金額の確認をしてもらっている。電話連絡をする場合もある。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族から、「家族会をつくって欲しい」との要望があり、他の家族に意見を伺えば、他の家族の意向も把握する中で、近日中に開催の予定である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	家族会の開催により、家族同志が交流を深め、さらに家族が職員に、意見・相談・苦情など気軽に伝えることができるようになることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔開所時から職員の異動はない。継続的支援が行われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔運営者は、全職員がケアの向上を目指して研修・会議などに参加できるような態勢をとっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修に参加した職員は、研修報告書を提出し受講内容を報告している。研修報告書は、全職員が閲覧できるようにするなど共有に努めている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔本年度から、町内で開催されるようになったGH連絡協議会には、管理者が出席し、情報や意見交換を行っている。サービスの質の向上への取り組みが窺える。〕	○	今後は、他のグループホームとの交流を深めることにより、事業所外の人の意見や経験を学び、さらなる職員の質の向上・サービスの提供を期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入居時には、心身の状況、病歴、生活歴、趣味などを把握し、入居後のケアに活かすことができるように努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔「できること」はしてもらう。「できそうかな」と思う場面では手をさしのべるという気持ちで接している。和やかな雰囲気随所にみられる。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔長年培ってきた生活の技を随所で教えてもらっている。料理方法、掃除の仕方、洗濯干し、鍬の持ち方、茶摘みの仕方など教えられている。支えられ、支えあう関係である。〕</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日々の関わりの中で積極的に声をかけ、表情などから希望や意向の把握に努め〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔意向がつかみづらい方は、家族、親類、近所の方からの情報をもとに、また職員は、時間をかけ利用者の行動に寄り添い、利用者にとって何が最良か探る努力をしている。〕</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔職員は、利用者がより良くその人らしさを失わないように暮らしていけるために、利用者や、家族の意見などを取り入れた介護計画を作成する努力をしている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔ホーム独自のアセスメントを作成し行っている。その人の「できること」「できないこと」をシートでわかるように工夫をしながら、全体会、カンファレンスでの意見交換は活発である。〕</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔基本的には3カ月毎に見直している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔利用者の状態の変化、家族からの要望があった場合は、その都度検討・見直しを行っている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔定期的には、長期目標は3カ月、短期目標は1か月とし、状況に応じて柔軟に対応している。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔診療所が近くにあり、日頃から連携も取れている。利用者、家族が安心して生活できるように、また、状態の変化にも対応できるように努めている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔利用者、家族の希望に応じて対応している。病状にもよるが、医師の理解と協力により、過去に数名の方がホームで終末を迎えている。2名の看護師によりケアの提供をしている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔緊急時、家族が送迎できない場合などは、職員が同行するなど柔軟な対応をしている。年末、年始の外泊の支援も行われている。〕</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔かかりつけ医については、利用者、家族と十分話し合いのうえ受診している。遠距離の医療機関を受診する場合は家族の協力も得ている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔本人、家族の希望に応じて対応している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。 〔受診結果について職員は的確に把握しているが、あくまでも利用者、家族が中心であり、その都度報告し、情報の共有はできている。〕</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔入居時から、重度化、終末期のあり方については、十分話し合いを行っている。利用者、家族の希望に沿える方向で支援を継続し対応している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔病状によるが、家族の希望はホームでの最期を望む方が多い。本人、家族の意向を踏まえながら、医師と連携をとり職員が一丸となって対応している。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 〔毎月の全体会で、プライバシーの保護には十分配慮するように話し合っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔毎月の全体会でも、個人情報保護法に関しての理解を深め、徹底するように話し合われている。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔一人ひとりのその日の体調に合わせて、個別性のある支援を心掛けている。散歩、買い物など希望に沿えるよう支援している。また職員との団欒を楽しむ方が多 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔基本的なスケジュールには基づいているが、個々の利用者への配慮、個別性は尊重し、その人に合った柔軟な支援をしている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔調理の下ごしらえ、盛り付け、片づけなど一連の流れは、利用者の意志、気持ちを尊重して進めている。準備に時間がかかることもあるが、急がすこともなく利用者中心に進めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員は、同じテーブルで利用者と同じものを食べ、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。利用者から、職員に「これ食べて」とか「もっと食べて」とかの声も出たり、和やかな食事の場面が窺われた。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔利用者の希望にあわせていつでも入浴ができる体制である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 〔入浴を拒否する場合は、言葉掛けに留意している。拒否をしていた方が、朝方、入浴をする時もある。職員は、個々の利用者の特徴を把握して支援ができるよう心掛けている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔職員は、利用者の経歴や経験などを把握しながら、個々の利用者が「喜びのある日」を過ごせるかを探りながら支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔過去の経験を活かし、料理、茶摘みの一連の作業、農作業など、利用者一人ひとりにが能力を発揮し楽しむことができる場面を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔職員は、一人ひとりの特徴や得意分野の把握をしており、利用者話し合いながら場面作りをしている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔一人ひとりのその日の体調を考慮しながら、日常的に散歩したり、利用者の希望に沿えるように、馴染みの店に買い物に出かける支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に 行っている。 〔歩行が不安定な利用者に対しては、シルバーカーを使用することで、戸外に外出できるように支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔散歩、外出、買い物など一人ひとりの希望に沿う支援をしている。月1回は遠出(ドライブ)を楽しんでいる。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔職員は、利用者の外出習慣を把握している。外出傾向のある方には、さりげなくついて行き、見守りながらケアを行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔散歩の時など必ず挨拶を交わし日頃から地域の方との交流を深めるようにしている。地域の住民が利用者に対して声かけをしてくれるなど良い関係を築いている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器などの定期点検は業者に発注して定期的に行われている。〕	○	職員だけの誘導の困難性を地域住民、警察署、消防署などに参画してもらった避難訓練で確認し、事業所の災害時対策に関する理解を求め、協力体制を構築することを期待する。災害に対する備品等を早急に準備することを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔一人ひとりの摂取量は、業務日誌に記載し把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔一人ひとりの嗜好を把握し、その日の体調により「とろみ」を付けたり、水分量の少ない方には、スポーツ飲料を補給するなど、栄養、水分摂取に配慮している。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕	○	ほとんどの利用者が全量摂取ができていますが、専門的な観点から、支援センターの保健師等に協力を依頼し、定期的にチェックをしてもらう事を検討されたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔共用の空間は、居心地よく、安心して過ごせる場所になっている。ベランダには所々に長椅子を置き、外の景色を見ながらくつろいでいる利用者もいた。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔利用者と一緒に作った作品の掲示も、家庭的な雰囲気を醸し出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔ホーム内の廊下、玄関、テーブルには季節の花が活けられ、共用空間には近々開催する運動会のポスターが掲示されている。四季を味わい、くつろぎ、安らぎのある暮らしができるように配慮している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔居室には、使い慣れた家具があり家庭の延長と思われる方もいたが、個々の事情により殺風景な居室もあった。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔職員は、本人の意向を確認しながら、どのようにすれば、その人らしく居心地のよい居室作りができるか努力している。〕	○	その人らしく、温かみのある居室になるように継続した取り組みを期待する。